



「題字」森田ゆかり先生ご揮毫

<Web版 創刊号>
第26号

2022年6月

聖ヨゼフ学園同窓会

希望の宣教師

理事長・学園長 平松 達美



同窓会の皆さま、ごきげんよう。

カトリック教会は、「ヨセフ年」(2020年12月8日〜2021年12月8日)を、聖ヨゼフの生き方に学び、聖ヨゼフの取り次ぎを願って過ごしました。この時全世界は、新型コロナウイルス感染症による「コロナ禍」にあつて、不自由さを味わっています。

教皇フランシスコは、「パンデミックという状況は、すでに多くの人が苦しんでいる。痛み、孤独、貧困、不正義を明らかにして増大させ、またわたしたちの偽りの安心感、わたしたちを密かに引き裂く細分化や分極化を露わにしました。もつとも弱くて傷つきやすい人が、なおいっそう脆弱に、壊れやすくなったのです。・・・現在の状況で早急に求められているのは、希望の宣教師です。自分一人で救われる人はだれもないことを預言的に気づかせてくれる、主に油注がれた者です。」(2021年

「世界宣教の日」教皇メッセージ」と励ましの言葉を送られています。

この一年聖ヨゼフ学園は、「聖ヨゼフ」を冠して創立68年の歩みを建学の精神、キリスト教の普遍的かつ不変的価値観に基づき、神の愛を土台として教育の推進に努めてきました。

同窓生の皆さまは、学園での学びを通して、今こそ「希望の宣教師」としてご活躍のことと存じます。更なる歩みのために次のことばは一助になるに違いありません。

「ヨゼフは、起きていることに場を空けるために自分の推論を脇に置き、自分の目にどれほど不可解に映っているとしてもそれを受け入れ、その責任を引き受け、自分の過去に対するわだかまりを解くのです。過去に対するわだかまりを解かなければ、わたしたちは次の一歩を踏み出すことはできないでしょう。期待とその結果としての失望にとらわれたままになるからです。」(教皇フランシスコ使徒的書簡「父のところで」)

聖ヨゼフは「沈黙の人」でした。単なる寡黙や無口ではなく、真理に心を開き、耳を傾け、聴く姿勢に満ちた沈黙、勤勉と深い精神性を表す沈黙で、話すことなく、行うことを通して「語った」のでした。「不言実行」の人、それが聖ヨゼフでした。

同窓生の皆さまが学園の精神を熟知する人として、それぞれの場で「不言実行」のうちに、「希望の宣教師」であつて欲しいと願ひ祈る者です。

皆さまの上に、神様の豊かな祝福と導きをお祈り申し上げます。

ご挨拶

同窓会会長 袋(望月) 尚子
(18 回生)

同窓会の皆様、ごきげんよう。

大変お待たせいたしました。26号「を」をお届けすることとなりました。2020年1月より始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大という世界的にも未体験の事態に直面し、同窓会活動も一変しております。学園行事の縮小中止に伴い、活動を自粛せざるを得ず、2020年2月にタブロイド判「ひざし25号」を発行した後、昨年度は発行することができず、昨年発行した「ひざし25号」を再発行いたしました。同窓生をはじめ旧職員の先生方からのお問い合わせ、激励のお手紙を頂戴し、改めて同窓会活動の大切さを役員一同痛感いたしました。

さて、2020年度からの2年間、同窓会においてはインターネット関連の充実を図り、パソコンとプリンターを買い替え、ホームページのリニューアルも完了しました。なかなか役員だけでは進めることができず、かなり学園のご協力を戴きましたこと、ここに感謝を述べさせていただきます。ありがとうございます。

今回の大きな変更といましては、新しいホームページ内「住所変更・お問い合わせ」よりお持ちのパソコン・スマートフォンから簡単に同窓会にアクセスできるようになりました。どうぞご活用下さい。

また、5月14日(土)、昨年度同様に書面による総会を開き、全ての議案をご承認いただきました。ありがとうございます。決議報告もホームページに載せております。コロナ禍の状況により、総会決議報告とひざしを公開することとなりましたので、個人情報保護法を遵守するため、今までの掲載内容とは変更している点がございます。ご了承いただけますと幸いです。

コロナ終息は未だ見通しが立ちそうにありませんが、この機を前向きに捉えて同窓会の事

務作業も遅ればせながら、アナログからデジタルへシフトチェンジし、変革の時と考えております。これまで同窓会を築きあげてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、ヨゼフらしさを残しつつ、次世代へ引き継ぐよう努力して参ります。

2022年度は更に時代に合ったSDGsの邁進に何ができるかを考えながら、微力ではございますが、皆様のご協力とご理解をいただき、役員10名体制で活動いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

☆同窓会ホームページをリニューアルいたしました☆

<https://www.stjdodosokai.com>



同窓会からのお知らせ、学年幹事さんへのご連絡、住所変更やお問い合わせ、会報誌の閲覧ができるようになりました。

随時更新して参りますので、是非ご覧ください。

それに伴い旧ホームページは本年末で閉鎖させていただきます。

ヨゼフ歴

中学校・高等学校校長

多田 信哉



2022年度が始まりました。遅ればせながら新年明けましておめでとうございます。本年も何とぞ聖ヨゼフ学園をよろしく願っています。

改めて同窓生のみなさまへごきげんよう。2021年4月より校長職を拝命いたしました多田信哉と申します。本来であれば5月に実施する同窓会総会にてみなさまにご挨拶すべきところでしたが、このように遅れてしまい申し訳ございませんでした。この「ひざし」の誌面をお借りして、今回は私のヨゼフ歴を紹介いたします。

聖ヨゼフ学園中学・高等学校に奉職したのは1995年4月です。もう27年になります。34回生が高校3年生、39回生が中学1年生でしたので、39回生のみなさんとは同期になります。ちなみに清水勝幸前校長も同期で、39回生が中学2年生の時に彼が担任、そして中学3年生の時には私が担任するなど、今回の校長職も後を受けて拝命するなど少なからずの縁を感じます。初年度は38回生の副担任でしたが、その時の担任の先生が大野訓子先生、お隣のA組の担任の先生が牧野輝子先生、隣の席は伊藤令子先生、その後ろの席が山田宏美先生という聖ヨゼフ学園創世記の頃を知る歴々の先生方に囲まれ、「すごいところに来たものだ・」とつい思ってしまった。また、社会科学科では主任の椎名一枝先生にみっちり教えていただきました。初めての担任は37回生が高校1年生の時、まだ自分も熱く、掲示物を

めぐって生徒と激論を交わすなど、手探り状態で過ごしていました。そのような中で37回生は体育祭の優勝という私にとって最初で最後の大きなプレゼントを贈ってくれました。今から考えますと当時の河村輝校長先生、竹田誠二教頭先生は26歳の若造をよくぞ担任にしたものです。ただなぜかその後担任になるのは中学1年生と2年生ばかり。42回生、45回生、47回生、少し飛んで54回生。やはり高校生よりも中学生の方が向いているとの判断だったのでしようか。しばらくして、中学入試委員会という広報を中心とする業務を始めてからは、担任はおろか学年にも入らない年が続き、ついに2021年より校長となるに至りました。

「ヨゼフ歴」といいたが初期の頃のことばかり記してしまっています。振り返ってみると今の自分があるのは奉職初期のころに様々な先生方から薫陶を受けたからだと思っています。そしてその先生方の考えや行動の礎には必ず勝野巖神様がいらつしやいました。当時、もう学園に來校されることはまれでしたが、新年には必ずお話しくださり、揺らぐことのない土台をずっと築いてくださっていたように思います。同窓生のみなさまにはこのような環境の中で学ばれていたのだと思うと改めて頭の下がる思いでいっぱいです。

みなさまが綿々と受け継いでこられた聖ヨゼフ学園の理念と使命を次世代に繋げていくよう、私は責任を持って進めて参りたいと考えております。若輩者ではございますがどうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。



着任のごあいさつ

小学校校長

鈴木 玲子



この4月1日付けで、小学校の校長職を拝命いたしました。3月までは事務室に席をおいておりましたが、今までは少し異にする職です。緊張と共に大変責任を感じております。これまで、アフタースクールやアフタースクールケアで様々な児童とのかかわりがありました。その中で、よく感じることはありません。

「私を知ってほしい」。これは人間の心の深い望みです。児童は自分の存在を認めてもらおうと、いろいろな努力します。自分という存在が認められることにより、基本的な安心感につながります。そこから喜び、希望を持ち、素直な成長、信頼が生まれます。イエス様は、私たち一人ひとりのことを、深く知ってくださいています。命を捨てるまでの愛で、愛していただくことができます。イエス様がしてくださったように、具体的にいかわり、体験を通し今まで以上に多くの子どもたちの成長に目をかけ、心をかけて務めを果たすことができます。これは何にも代えがたいことであります。日々、69年の教育の積み重ねが、今の聖ヨゼフ学園を支えています。この間、携わってくださった方々の努力を無にしないように精進し、いのちの育みに尽力してまいります。

聖ヨゼフ学園創立の原点と国際バカロレア教育の理念に基づいた教育の融合により、聖ヨゼフ学園小学校の21世紀型の教育が確立するものと確信しています。それは、初代校長の勝野巖神様が「子どもたちが人生をいきいきとくうえで羅針盤となる普遍的価値観がカトリックの教え、キリストの生き方にある」という教えにより目指した人の育成が、IBの理念を

具体的な人間像「IBの10の学習者像」と重なることを考えるからです。「IBの10の学習者像」は、IB教育における中心原理であり、具体的な指針でもあります。人間が一生に対して果たすべき役割を見据えて生涯にわたって学び続ける人の姿として、同時に生涯続く旅の道標として示され、希望を持って生きる未来の姿へと繋がっています。旧約聖書の創世記にあるように、人は神に「かたどって」創造され、神の「命の息を吹き入れられ、生きるものとなった」のです。人は神さまの愛に包まれ、尊い存在、かけがえない恵まれた存在であるかがわかります。学園の教育活動を通して、神さまからの愛の呼びかけを知り、それに応えて生きる人となって欲しいと願っています。

ごあいさつ

小学校教頭

河野 健一郎

ごきげんよう。

日頃より小学校の教育活動に、ご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

少し前のことになりましたが1月28日に創立記念式を執り行いました。聖ヨゼフ学園小学校がどのようにして創立され、どのようにこれまでの歩みを進めてきたのか、平松学園長・神父様からのお話しも頂きながら児童、教員、みんなで分かち合いました。本来であれば勝野講堂に全員が集い、その思いを一つにしたかったのですが、今年は新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株の急激な感染拡大があり、小学校は休校措置をとっていた期間中であつたため、ZOOMによるオンライン開催、子ども達は在宅での参加となりました。画面を通してではありましたが、しつかりと姿勢を正し、神父様のお話に真剣に耳を傾ける子ども達の姿がありました。私達教員も子ども達の思いを共にすることができ、胸が熱くなる思いでした。そしてご家庭の保護者の皆様も、多くの方々が

訃報

2022年1月27日にマ・スール山口が帰天されました。心よりご冥福をお祈りいたします。マ・スール山口がお亡くなりになるまで交流をつづけていらした卒業生に、追悼文をお願い致しました。

「朝の心」

10 回生 中込(秋山)伊都子

「朝の心」(一と二) 川部金四郎著ドン・ボスコ社 1960年5月31日初版発行1991年4月1日改訂発行 現在は絶版

お教室朝礼の時、マ・スール山口がこの本の一話ずつをマイクを通して朗読なさったのが今も忘れられない。これは訓話集で、「朝の心」は白紙のようなもの、新しい一日を始めるにあたって、何を聞き、何を感じるかは、その日の日のあり方を決定するもの」と『赤毛のアン』の翻訳者として著名な村岡花子女士が巻頭に序文を寄せている。私が覚えているのはその話の内容ではなく、マ・スール山口の強烈な長崎弁のアクセントである。高3の時の学年担任としてヨゼフで最後の一年間をご指導いただいた。シャルトル聖パウロ修道女会のマ・スール方はとにかく厳しい方々が多かったが、その中でマ・スール山口は異色だった。とにかく明るく活動的で、時には厳しかったが怖いと思ったことは一度も無かった。片瀬修道院にいらしてからは、同級生と一緒に、時には一人で伺った。何かを相談するという訳ではなく、お目にかかってお喋りしていると元気になる事が出来たからだと思う。それはいつもこの一言からだだった。「私は長崎で被爆しているのに、今まで生きてこれたのは神様のお蔭ですよ。」重みがありとても説得力があった。

2019年5月5日五月晴れの日、先輩と後輩たちと共に江の島のビストロでお誕生日の

お祝いをしたのがお目にかかった最後になってしまった。この日もお元気で明るく楽しいマ・スールだった。修道院までお送りし、門を出て歩き始めた時、上の方から「またいらつしやうい」と声がした。全員が驚いて上を見ると、修道院の屋上からニコニコしながら手を振ってくださっていた。とてもチャームिंगな笑顔だった。長い間本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。どうか私たちを天国からお見守りください。



2019年5月5日江の島のビストロにてお誕生日お祝い

「思い出」

17 回生 千野(大長) 由実

17 回生の私にとってマ・スール山口は、中学一年生の時に朝礼や式典でお目にかかった

一緒に参加して下さっていました。特に低学年では児童だけでは機器の操作や式に臨む姿勢も十分ではないかもしれません。仕事や家庭のことで多忙を極める中、そのように小学校に寄り添って下さっていることを、本当にありがたく受け止めていただきました。

このように保護者の皆様のご理解とご協力が頂けるのも、これまで卒業生の皆様が綿々と受け継ぎ、築き上げられてこられた学園の文化があつてこそだと改めて強く感じました。中高が共学化したことにより、今まで外部受験をしなければならなかった男子児童も12年間変わらぬその学園の文化の中で育っていくことができるようになりました。

小学校では国際バカロレア・PPPプログラムにより学びが大きく変わりました。そして今、中学校もMYPプログラムの導入に向け歩みを進めていらつしやるそうです。どんなに時代が変わっても、揺るぎない伝統と価値を基盤としながら、果敢に変化に挑戦していく小学校でありたいと考えています。

これからも同窓会の皆様のご支援とご指導を、よろしくお願い致します。

退任のご挨拶

前中学校・高等学校校長

清水 勝幸

皆様ごきげんよう。昨年の3月、25年にわたる聖ヨゼフ学園での教育活動を卒業いたしました。その間に会った卒業生の皆様、保護者の皆様、そして生徒の皆さん、教職員の仲間たち、本当にありがとうございました。とつても楽しく、充実した日々を送ることができました。しかし、振り返れば、多くの皆様に多大な心配とご迷惑をおかけした日々でもありました。特に入職二年目の冬、胃癌の宣告を受け、右往左往する中で、担任をした生徒たちからの励ましと全学年からの篤いメッセージは、当時の厳しい状況を一気に挽回する力となりました。

た。祈っていたたく力を初めて実感した瞬間でもありました。教頭として9年間、校長として7年間、多くの方々の励ましとご協力をいただき充実した日々でしたが、一番の喜びは、担任として働いていた時でした。生徒に恵まれ本当に楽しかった。25年の間に会った生徒の皆さんは、私を教師として導いてくれた恩人です。ありがとうございます。聖ヨゼフ学園にはどこにも負けない愛にあふれた生徒たちと、保護者の皆様、そして心から信頼する先生たちがいます。皆様からのタラントンをありのまま受け止めて、一人ひとりが喜びをもって日々を過ごすことができますように祈ります。

最後に、同窓会の皆様、特に歴代の会長様、教頭として、校長として十分でない私を支えていただきありがとうございます。疲れたときにもいただいた同窓会室でのお茶とお菓子は、とても美味でした。聖ヨゼフ学園と、同窓会のみますの発展を祈念して、最後のことばとさせていただきます。

◎退職職員(2022年3月) 敬称略
秋吉梨恵子(小学校 常勤講師)
荒屋 勝寿(小学校 校長)
伊藤 宗彦(小学校 教諭)
佐藤 圭佑(小学校 非常勤講師)
西村 哲臣(小学校 教諭)
林 健太郎(小学校 常勤講師)
三浦 藍(小学校 非常勤講師)
穴戸 秀行(中高 英語科教諭)
茅野 良太(中高 英語科教諭)
藤本 哉夢(中高 数学科教諭)
松尾 克己(中高 音楽科非常勤講師)
伊東 徳子(中高 英語科非常勤講師)
中村 歩美(中高 国語社会科非常勤講師)
木下エリカ(中高 英語科教諭) 非常勤へ

副校長先生でした。それが約6年前、同窓会の生涯学習会で、マ・スール山口をお尋ねすることになりました。私は緊張とともに上級生方と片瀬の修道院に向かいましたが、マ・スール山口は病み上がりにも関わらず、御門の前で待っていてくださったのです。笑顔で迎えて下さるお姿に感激し、緊張は解けていきました。生涯学習会では、ご自身の人生を歩んで来られた信仰の道、病を受け入れた先の感謝と祈りの日々について聞かせていただきました。強く明るいマ・スールのお心を覗かせていただいたようで、とても貴重な経験となりました。その後はヨゼフ祭等で何度かお会いすることができ、いつも嬉しそうに私達をむかえてくださったお姿は今も心に残っています。

昨年、帰天の報に接しました。コロナ禍で暫くお目にかかれずにいた事は心残りですが、マ・スール山口のこと、まっすぐ神様の身許に行かれたのだと、あの温かさを思い出しております。

58 回生 成人を祝う会

58 回生 石田 真子

私達 58 回生白バッチは卒業の少し前から新型コロナウイルスという未知のウィルスと向き合ってきました。昨年に引き続き開催できないかもしれないという不安とともに、二年前の仲間と再会できることを楽しみにしてきました。こうして、成人の集いを開催できたのはご協力くださった多くの先生方と同窓会の方たちのおかげだと思っております。

横浜市の成人式で言われた通り、人生100年時代を一日に表すと私達20歳は午前4時48分です。まだまだ先の長い夜明け前の時間です。これから日が昇るように私達も大きく成長したいと思った一日でした。



画：58 回生 横溝友美



小学校7回生 同期会

幹事 長田 真由美 太田(梨木) 恵子
深田 信 佐藤 孝雄

2020年2月1日に18名が参加して小学校7回生同期会が開催されました。前回から5年の間が空いてしまいましたが、丁度70歳と古希を迎える年の早春、夕方の4時に全員が集まり横浜駅に近い高島の味蕾亭で開宴となりました。お互い容姿は変わっていても、やはりどこか幼顔の面影が残っていて昭和の小学生に戻って話に花が咲きました。一人一人の近況報告は、ウンウンと頷きながら聞き入ったり、ホントー?と合点の手が入ったりで、時間はあっという間に過ぎ、早々に次回幹事も決まって会合は開きとなりました。新型コロナウイルス蔓延の直前に開くことができて良かったと思います。

今回は中村(田村)ひろみさんと飯田明夫さんに何かとお世話になりました。お二人とも残念ながら出席はできませんでしたが多大のご協力を頂き感謝です。(佐藤孝雄記)

ご活躍の同窓生

44 回生 梶ヶ谷 静

皆さま、ごきげんよう。

聖ヨゼフ学園を卒業して、大学に進学後、企業系法律事務所でパラリーガル(法律事務)として5年間の勤務を経た後、大学院に進学し、司法試験を受験しました。試験を無事通過し、現在は、都内で弁護士として働いております。試験を受ける上でも、今、仕事をしている上でも、諦めないで粘り強く取り組み続ける精神力が大きな支えになっています。ヨゼフに在学した6年間、バレーボール部に所属し、同級生先輩、後輩の皆さんと一つのボールを追い続けたあの日々が、その根底にあることは間違いありません。

この仕事をしていると、過去の自分の人生には到底現れなかったような人間性を持ち合わせた方々のお相手をしなければならぬことも多々あります。そういった事件を担当するたび、自分の過ごした人生やヨゼフで過ごしていた時間が、いかに両親、家族、先生方や友人たちに守られていたものであったかを実感します。

特に平日はバタバタの毎日ですが、帰宅すると、愛犬がしっぽを振って元気に迎えてくれます。頭のでっぴんからしっぽの先まで、すべてが可愛い愛犬と触れ合えば疲れも一気に吹き飛びます。

まだまだ経験は浅く、これからも鍛錬の日々が続きますが、支えてくれる家族・友人等、周囲の方々への感謝の気持ちや、信望愛の精神を忘れずに一歩ずつ弁護士として、人間として成長していけたらと考えております。



2021年度同窓会活動報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

5月 書面総会

12月 小中高へクリスマスプレゼント贈呈

1月 勝野神父様追悼ミサ参列

58 回生成人を祝う会出席

3月 小学校同窓会入会案内を依頼

高等学校同窓会入会式挙行

年間を通して、名簿の整理、PCの交換、ホームページのリニューアルをいたしました。

勝野巖神父様追悼ミサ

初代校長勝野巖神父様が、天国に召されてから20年目を迎えた2022年1月14日、学園お御堂にて追悼ミサが行われました。平松神父様より在りし日の勝野神父様のお話を拝聴し、在校時の懐かしいお姿に思いを馳せました。

新型コロナウイルス感染拡大で去年は参列が叶いませんでしたが、今年はお祈りを捧げることができました。



60 回生同窓会入会式

2022年3月4日、勝野講堂において60回生の同窓会入会式が挙行されました。

卒業生を代表して岩原妃里さんよりご挨拶がありました。

寒さに凍える冬の中にも暖かい春の兆しを感じられるようになりました。明日3月5日をもって私達47人60回生一同はこの聖ヨゼフ学園高等学校を卒業致します。

在学中、様々な行事や日々の学校生活を通して、先輩や後輩、そして同級生と関わっていく中で「仲間」の大切さを感じる場面に多く出会いました。また、これから大人になる私達にとって、学校は社会で必要な礼儀などを教わった場所であり、同じ空間で皆で一つの目標をひたす事に迫り求める青春、そしてその目標を達成できた時の喜びを実感する機会を与えてくれた場でもありました。

同窓会の皆様、今までさまざまな場面で私達を暖かく見守ってくださったことに感謝いたします。ありがとうございます。

間もなく私達は聖ヨゼフ学園を後にし、それぞれ違う道を歩んでいくことになります。卒業後も校訓「信望愛」を胸に、この学園で学べたことを誇りに、今後は同窓会の会員として学園に関わり続けていくことを誓います。以上をもちまして同窓会入会の挨拶といたします。

60 回生の皆様のご入会を卒業生一同歓迎いたします。新学年幹事さん4名の方も決定いたしました。来年度の総会まで学年の皆様の代表として連絡係等務めていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



2022年度書面総会

(2021年4月1日～2022年3月31日)

さる、5月14日(土)役員のみでオンラインによる2022年度同窓会総会を開催しました。

書面総会にて会員の皆様にご承認いただいた決議について、役員一同で確認いたしましたのでここに報告いたします。

- 第一号議案 2021年度活動報告 賛成
- 第二号議案 2021年度決算報告及び会計監査 賛成
- 第三号議案 役員選出 賛成
- 第四号議案 2022年度活動計画 賛成
- 第五号議案 2022年度予算案 賛成
- 第六号議案 会則の変更 賛成

議長に会長の袋さんが選出され、昨年度の活動報告、会計報告、監査承認の報告がありました。

次いで、永年にわたって同窓会の役員活動をして下さった16回生の山中恵さん、22回生の上堂園貴子さん、24回生の大畑幹子さんのご勇退の挨拶。そして新役員の37回生の小田原裕子さんのご紹介がありました。

続いて、本年度の活動計画案、実行予算案、会則の一部改訂について説明がありました。

すべての議案について過半数の賛成により可決されました。ご協力ありがとうございました。

2021年度 会計報告(2021.4.1～2022.3.31)		(単位:円)	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,748,156	総会案内作成・発送費用	441,051
既卒業生終身会費	100,000	印刷代	91,005
終身会費	2,190,000	入会関連	137,580
銀行利息	65	慶弔費	0
雑収入	12,900	事務費	57,330
		会議費	4,000
		通信費	49,601
		ヨゼフ祭費用	0
		学年幹事費用	0
		総会茶話会費用	0
		チャイルドケア費用	0
		成人を祝う会費用	5,744
		学園関連費	190,000
		寄付(学園)	70,000
		雑費(振込手数料含)	6,186
		行事保険料	13,700
		クリスマスバザー材料費	0
		小計	1,066,197
		次年度繰越金	9,984,924
合計	11,051,121	合計	11,051,121

2022年度 実行予算(2022.4.1～2023.3.31)		(単位:円)	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,984,924	会報作成・発送費用	450,000
既卒業生終身会費	20,000	総会案内作成・発送費用	100,000
終身会費	2,070,000	印刷代	80,000
銀行利息	65	入会関連	150,000
雑収入	15,000	慶弔費	30,000
		事務費	200,000
		会議費	30,000
		通信費	50,000
		ヨゼフ祭費用	50,000
		学年幹事費用	10,000
		チャイルドケア費用	2,000
		成人を祝う会費用	50,000
		学園関連費	200,000
		寄付(学園)	100,000
		雑費(振込手数料含)	10,000
		行事保険料	15,000
		小計	1,527,000
		次年度繰越金	10,562,989
合計	12,089,989	合計	12,089,989

昨年掲載予定でした2020年度会計報告と2021年度の実行予算も併せてご報告いたします。
(書面総会にてご承認いただいたものです)

2020年度 会計報告(2020.4.1～2021.3.31)		(単位:円)	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,528,996	会報・総会案内作成・発送費用	0
既卒業生終身会費	50,000	印刷代	0
終身会費	2,820,000	卒業・入会関連	99,600
銀行利息	52	慶弔費	15,000
雑収入	11,850	事務費	207,839
広告料	20,000	会議費	0
		通信費	90,347
		ヨゼフ祭費用	0
		学年幹事費用	0
		総会茶話会費用	0
		チャイルドケア費用	0
		成人を祝う会費用	0
		学園関連費	150,000
		寄付(学園)	100,000
		雑費(振込手数料含)	5,456
		行事保険料	14,500
		クリスマスバザー材料費	0
		小計	682,742
		次年度繰越金	8,748,156
合計	9,430,898	合計	9,430,898

2021年度 実行予算(2021.4.1～2022.3.31)		(単位:円)	
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,748,156	総会・会報作成・発送費用	800,000
既卒業生終身会費	50,000	印刷代	70,000
終身会費	2,550,000	卒業・入会関連	120,000
ヨゼフ祭売上	0	慶弔費	30,000
クリスマスバザー売上	0	事務費	50,000
銀行利息	50	会議費	50,000
雑収入	0	通信費	200,000
		ヨゼフ祭費用	50,000
		学年幹事費用	10,000
		総会茶話会費用	0
		チャイルドケア費用	2,000
		成人を祝う会費用	12,000
		学園関連費	250,000
		寄付(学園)	100,000
		雑費(振込手数料含)	10,000
		行事保険料	15,000
		クリスマスバザー材料費	10,000
		小計	1,779,000
		次年度繰越金	9,569,206
合計	11,348,206	合計	11,348,206

2020 年度の主な大学合格実績(高等学校卒業生)(過年度卒業生含む)

合 格 校	国公立大学	北海道	筑波	東京外国語	東京芸術	私立大学	青山学院	学習院女子	神奈川	関東学院	京都女子	杏林	国学院	相模女子	上智	湘南国際	昭和	昭和音楽	昭和女子	昭和薬科	女子美術	白百合女子	聖心女子	清泉女子	専修	大正	玉川	多摩美術	中央	
	津田塾	鶴見	帝京平成	東海	東京医療学院	東京医療保健	東京家政	東京家政学院	東京工科	東京造形	東京都市	東京農業	東京保健医療専門職	東京薬科	東京理科	東邦	日本	日本体育	日本薬科	フェリス女学院	星薬科	武蔵野美術	明治	明治学院	目白	ヤマザキ学園	横浜創英	横浜薬科	立教	早稲田
	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	3	2	1	2	1	2	1	3	4	2	1	1	6	3	2

2020 年度小学校卒業生の主な合格・進学実績

合 格 校	男子	麻布中学校	鎌倉学園中学校	関東学院中学校	グローバルクリスチ ヤンアカデミー	慶應義塾普通部	静岡聖光学院	聖学院中学校	聖光学院中学校	青陵中学校	世田谷学園中学校	高輪中学校	日本大学中学校	日本大学豊山中学校	文教大学付属中学校	法政大学第二中学校	目黒区立第十中学校	山手学院中学校	横浜国大附属鎌倉中学校	横浜市立篠原中学校	横浜市立矢向中学校	横浜隼人中学校	聖ヨゼフ学園中学校							
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2								
	女子	跡見学園中学校	関東学院中学校	香蘭女学校	渋谷教育学園渋谷 中学校	湘南学園中学校	女子学院中学校	洗足学園中学校	普連土学園中学校	聖ヨゼフ学園中学校																				
		1	1	1	1	1	1	1	1	25																				

2021 年度の主な大学合格実績(高等学校卒業生)(過年度卒業生含む)

合 格 校	国公立大学					私立大学	桜美林	大妻女子	神奈川	神奈川歯科	鎌倉女子	共立女子	北里	国学院	相模女子	順天堂	上智	昭和女子	昭和薬科	白百合女子	成城	聖心女子	清泉女子	専修	玉川	多摩美術	鶴見	帝京	帝京科学
	帝京平成	東海	東京農業	東京薬科	東洋英和	東洋	二松学舎	日本	日本女子	フェリス女学院	文化学園	法政	星薬科	北海道医療	松本歯科	明治	明治学院	横浜薬科	立教	和光	早稲田	女子美術短大	星美学園短大	東京医療専門					
	3	1	1	2	1	1	1	8	2	1	2	1	1	1	1	5	6	1	3	1	2	1	1	1					

2021 年度小学校卒業生の主な合格・進学実績

合 格 校	男子	太田区立蓮沼中学校	関東学院中学校	関東学院六浦中学校	暁星国際中学校	攻玉社中学校	駒場東邦中学校	静岡聖光学院中学校	品川翔英中学校	逗子開成	聖光学院中学校	成城学園中学校	高輪学園高輪中学校	藤嶺学園藤沢中学校	法政大学第二中学校	横浜市立栗田谷中学校	聖ヨゼフ学園中学校													
		1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	8													
	女子	神奈川学園中学校	神奈川大学附属中学校	香蘭女学校	清泉女子学院中学校	鶴見大学附属中学校	広尾学園中学校	横浜女学院中学校	早稲田実業学校中等部	聖ヨゼフ学園中学校																				
		1	1	2	1	1	1	1	1	37																				

2022 年度 同窓会役員

名誉会長 担当顧問	多田 信哉	中学・高等学校校長先生	鈴木 玲子	小学校校長先生
会長	武田 けい子	中学・高等学校教頭先生	河野 健一郎	小学校教頭先生
副会長	袋 尚子 (18)			
会計	深瀬 喜永 (13)	田中 敦子 (18)		
書記	木村 美華 (21)	瓜生あずさ (25)		
役員	高島 友香 (24)			
会計監査	佐藤紀久子 (12)	相澤 眞里 (16)	山野辺和美 (25)	小田原裕子 (37)
	吉田 泉子 (16)	川田 元美 (20)		

本年度学年幹事をお引き受けいただきましてありがとうございました

2022 年度 学年幹事

ひざしも web 版となりましたので個人情報保護法遵守の観点により学年幹事の皆様のご氏名は公開しておりません。ご用の折は、同窓会 HP の[お問い合わせ]フォームよりご連絡ください。

※空欄の回生でお引き受けくださる方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

回生	回生	回生	回生	回生	回生
2	12 3 名	23 2 名	34 1 名	45 1 名	56 2 名
3 1 名	13 2 名	24 2 名	35 1 名	46 2 名	57 2 名
4	14 3 名	25 2 名	36	47 2 名	58 3 名
5 1 名	15 2 名	26 2 名	37 1 名	48 2 名	59 4 名
6 2 名	16 3 名	27 3 名	38 1 名	49	60 4 名
7 1 名	17 3 名	28 3 名	39 2 名	50 2 名	61 2 名
8 2 名	18 2 名	29	40	51 2 名	62 3 名
9	19 1 名	30 1 名	41	52 1 名	63 4 名
10 2 名	20 1 名	31 1 名	42	53 4 名	64
11 2 名	21 3 名	32	43	54 2 名	65 2 名
	22 2 名	33 4 名	44 1 名	55 1 名	66 4 名

学年幹事について

任 期：1 年（総会から翌年の総会まで）但し次年度の方が決まらない場合は継続をお願いいたします。
選 出：各回生にお任せしますが、必ずご本人に確認してください。
活動日：随時。決まりましたらご連絡いたします。

※ご協力をお願いいたします！

同窓会役員で 13 回生の深瀬喜永です。いつも同窓会活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。
聖ヨゼフ学園は 2020 年度より男女共学化になりました。以前は男子卒業生は小学校のみでしたが、これからは中学・高校の卒業生として男子の同窓生会員が増えていくと思われます。現在、同窓会役員で男性は私ひとりです。これから聖ヨゼフ学園同窓会を発展させるためにも、お知り合いの男子卒業生の方々にお声掛け頂き、同窓会活動のお手伝いできる方をご紹介いただけないでしょうか。
是非ともご協力をお願いいたします。
ご協力いただける方は、同窓会 HP のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

同窓会のメールアドレスは次の 2 つを使用しています。

- ① dosokai@atonement.ed.jp
- ② joseph@stjdosokai.com

コロナ禍となり、同窓会も在宅ワークを導入せざるを得ない状況となりましたため、今後、②のアドレスで届くことが主になります。受信できるよう設定をよろしくをお願いいたします。

～編集後記～

2 年ぶりに「ひざし」を制作することができました。今号よりホームページにて閲覧可能になりました新しい「ひざし」は同窓会役員による手作りです。Word と日々悪戦苦闘しながら何とか形になりました。お見苦しい点もございますが何卒ご容赦くださいませ。
制作にご協力くださった平松神父様をはじめ多くの皆様に感謝申し上げます。
7 回生の皆様、同期会ご報告の掲載が 2 年遅れになりましたこと、心よりお詫び申し上げます。
「ひざし」を通して、卒業生の皆様に、ヨゼフ時代を追懐するひとときをお届けすることができましたら幸甚でございます。

会報：ひざし 26 号 (WEB 版)

編集：同窓会役員一同

発行：聖ヨゼフ学園同窓会（聖ヨゼフ学園内）

〒230-0016 横浜市鶴見区東寺尾北台 11-1

TEL/FAX 045-581-8818